

海事レポート 2013

全速前進、海国日本。

海事レポート
2013

全速前進、海国日本。

国土交通省
海事局



MLIT Maritime Bureau Annual Report 2013



国土交通省
海事局

はじめに

四面環海、海に囲まれた国土に暮らす日本人にとって、あるときは生活に潤いをもたらし、またあるときは遠い土地から人やものを運んでくれる大海原は、かけがえのない存在であり続けてきました。我々国土交通省海事局の責務は、この海という大きな舞台で活躍する数多の人々を支え、また活力に満ち溢れた生業の場としての海を形作っていくことにあります。このことに、我々は大きな自負心を抱いています。

しかしながら、造船業・海運業といった、いわば業界に属する方々以外に対して、海事局の取組や目指すものをご紹介する努力は、これまで必ずしも十分ではない憾みがありました。そのため、本年度は、この「海事レポート」をそのための重要な手段と捉え、海について何らかのかたちで関心をお持ちである幅広い人々にお読みいただける内容とするよう心がけました。

具体的には、冒頭では「海事局最前線」と題して、現在進行形で動きつつあり、海事局が今まさに汗を流している3つの施策について、その背景と意義を分かりやすくご紹介しています。また、第Ⅰ部では、海事局の政策分野のうち、とりわけ重要な8つの課題について説明を行っています。また、第Ⅱ部では、豊富な統計データや図表等によって、複雑かつ膨大な規模を誇る日本の海事クラスターの全体像、海事産業にかかわる人々の姿が浮かび上がるように努めています。そして、本レポート全体を通じて、匿名の存在になりがちである海事行政の担い手、そして受け取り手の双方の「顔」が見えるように、多くの人物に登場いただいています。

こうした新たな試みをどう受け止めていただけるか、読者の皆様のご感想をお聞かせいただければ幸いです。



国土交通省海事局長 森雅人

【全速前進、海国日本。】

「海国」とは少し聞きなれない言葉かもしれませんが、林子平が江戸時代に「海国兵談」を記したように、海と深く関わりを持ち、海とともに生きる日本の在り様を意味しています。本年度版の海事レポートには、そんな海国の一翼を担い、日本の豊かさを深めていく原動力でありたいと願う海事局の矜持を込めて、この副題を付けました。



【表紙の写真】
お台場に停泊中のホタルナ

ホタルナは、東京都観光汽船株式会社が運航する新造旅客船である。2012年6月に営業を開始し、浅草とお台場のあいだを運航している。漫画家の松本零士氏がプロデュースしており、宇宙船のような流線型のユニークな外観や、ガラスを多用した開放的な雰囲気は、多くの観光客をひきつけている(撮影：西内章人)

CONTENTS

海 事局最前線

① 新たな経済成長のエンジンとなる、
海洋産業の戦略的育成 001

② 海賊多発海域における日本
船舶の安全確保のための取組 007

③ 東日本大震災からの復興と
今後起こりうる大規模災害への対応 011

第II部 海事の現状とその課題 068

第1章 海上輸送分野

1 外航海運	069
2 国内旅客輸送	114
3 内航海運	126
4 港運	142

第2章 船舶産業分野

1 船舶産業市場の動向	151
2 船舶産業の発展のための取組	158
3 技術開発の現況	160

第3章 船員分野

1 船員の現状と分析	161
2 船員の確保・育成	164
3 労働環境の整備	171
4 船員分野における国際協力	177

第4章 国際的課題への対応

1 国際機関への対応	181
2 国際協力の推進	182
3 国際ルールへの取組	184

第5章 海上安全・保安の確保と環境保全

1 海上安全の確保対策	187
2 船舶・港湾に関する保安	199
3 環境の保全対策	200
4 ポートステートコントロール	209

第6章 小型船舶の利用活性化と海事振興

1 小型船舶の利用振興に向けた総合政策	211
2 モーターボート競走の現状	220

第I部

海事行政における重要課題 016

第1章 安定的な国際海上輸送の確保

1 貿易大国の基礎を支える海上安全・保安の確保への取組	017
2 我が国の海運業の国際競争力を高め、安全保障に貢献するトン数標準税制	021

第2章 造船産業の国際競争力の強化

1 我が国の造船業の現状	027
2 業界再編の促進	028
3 受注力の強化	029
4 新市場・新事業への展開	030
5 国際協力の推進	032

第3章 内航海運の活性化

1 内航海運の活性化	033
2 環境特性を生かしたモーダルシフトの推進	035
3 離島航路の確保・維持・改善と島民の利便性向上への取組	035

第4章 海洋産業の戦略的育成

1 海洋資源開発をめぐる現状	039
2 国際競争力の基盤となる技術力の向上	039
3 海洋資源開発プロジェクト等への進出支援	041
4 次世代海洋資源開発プロジェクト	043
5 浮体式洋上風力発電の導入促進	044

第5章 環境問題への取組

1 国際海運におけるCO ₂ 排出量削減・抑制対策	046
2 船舶からのNOx削減対策等の推進	049
3 天然ガス燃料船の早期実用化に向けた取組	051

第6章 海事産業を担う人材の確保・育成

1 船員の確保・育成	053
2 船員の労働環境改善に向けた環境整備(船員法の改正)	057
3 海事産業に対する国民の理解増進	057

第7章 海上安全対策の充実

1 我が国周辺海域における海難の発生状況	059
2 総合的な安全確保政策の実施	059

第8章 観光立国推進に向けた取組

1 海事行政の新たな挑戦としての観光振興	063
2 外航クルーズの誘致に向けた取組	064
3 ゴールドルートの次はエメラルド―瀬戸内の船旅の魅力―	067